

# 東京大空襲を語り継ぐつどい

東京大空襲・戦災資料センター 開館 15 周年

日時 2017 年 3 月 5 日 (日)

13 時 30 分開会 (開場は 13 時)

会場 江戸東京博物館 ホール(1 階)

定員 400 名(先着順) 参加費 500 円 (高校生以下無料)



講演 **白神優理子さん**

若い世代が東京大空襲を語り継ぐということ  
～「日本国憲法は希望」～



講師・白神優理子さん

合唱 **足立ピースフラワー合唱団**

- ◆体験を語る 藤間宏夫さん 「今だから伝えたいこと」
- ◆センターこの 1 年の活動 ◆センターで学ぶ子どもたち
- ◆新作証言映像作品の上映  
証言者:元木キサ子さん 墨田区(旧本所区)菊川町で被災
- ◆あいさつ 早乙女勝元 (東京大空襲・戦災資料センター館長)



〈主催〉 **東京大空襲を語り継ぐつどい実行委員会**

〈連絡先〉 **東京大空襲・戦災資料センター**

〒136-0073 東京都江東区北砂 1-5-4

TEL: 03-5857-5631 FAX: 03-5683-3326

## 講師紹介

神奈川県海老名市生まれ。厚木米軍基地の近くで生まれ育ったので、基地に関しては、幼い頃より関心をもつ。高校在学中に世界の子どもの平和像をつくる会や東京高校生平和のつどいの実行委員長を務めた。活動に取り組む中で弁護士を志す。大学・大学院時代には9条の会でも活動。司法修習生時代の修習地は米軍基地の多い沖縄県那覇市。

2013年12月弁護士登録。八王子合同法律事務所所属。横田基地騒音公害訴訟、原爆症認定訴訟、はたらく者の権利に関する解雇・賃金不払い・年金請求・過労死事件等を担当。憲法・労働法制などの講師活動にも取り組み、東京高校生平和のつどい、各地の母親大会などで講演。

## 講師のことば

つどいにお招きいただき、ありがとうございます。

私は高校時代に「東京高校生平和ゼミナール」活動に参加し、高校生の仲間と共に戦争の証言に学び、平和について表現してきました。東京大空襲の戦跡地を回り、体験者の方から毎月のようにお話を伺いました。活動に参加する前の私は、「世の中なんて変わらない」「人間は過ちを繰り返すものだ」と諦めていました。

しかし数々の証言から、多くの戦争犠牲者の上に、国家権力の手足を縛り戦争をしないと誓った憲法ができたことを学び、戦争体験者の方の「あなた達が次の社会をつくる主人公だよ」という力強いメッセージに勇気づけられ、「歴史は前に進む」という希望を見つけました。

私は弁護士になるという夢を見つけ、今は憲法の講演に数多く取り組んでいます。戦争体験を語り継ぐことが、若い世代の生き方を変えることを、リアルにお話したいと思います。



## 会場案内 江戸東京博物館

〒130-0015 東京都墨田区横網 1-4-1



### \* アクセス

- ・JR 総武線 両国駅西口下車 徒歩3分、東口下車 徒歩7分
- ・都営地下鉄大江戸線 両国駅（江戸東京博物館前）A3・A4 出口 徒歩1分
- ・都バス 錦27・両28・門33系統、墨田区内循環バス「すみだ百景すみまるくん・すみりんちゃん（南部ルート）」にて「都営両国駅前（江戸東京博物館前）」下車、徒歩3分

## 東京大空襲・戦災資料センター

1945年（昭和20年）3月10日の未明、約300機のアメリカ軍爆撃機B29による東京下町地区を目標とした無差別爆撃で、人口過密地帯は火災地獄と化し、罹災者は100万人をこえ、推定10万人もの尊い命が失われました。3月10日を含め、東京は100回以上の空襲を受けて、市街地の5割を焼失したのです。

1970年から「東京空襲を記録する会」は資料収集を続けてきましたが、東京都は1999年に「平和祈念館」建設計画を凍結。そこで、記録する会と財団法人政治経済研究所は、やむにやまれぬ思いで民間募金を呼びかけ、4000人超の方々のご協力によって、2002年3月9日に東京大空襲・戦災資料センターを開館しました。2007年3月には再び募金のご協力を得て、増築を実現しました。

多くの会員のご支援のもと、民立民営の平和博物館として、来館する方々に空襲の実相、いのちと平和の尊さを伝えてきました。今年、開館15周年を迎えます。